

令和7年12月16日14時00分
近 畿 地 方 整 備 局
滋 賀 国 道 事 務 所
近 畿 道 路 メ ン テ ナ ン ス セ ン タ ー
湖 南 市

橋梁点検新技術のデモンストレーションを行います

～ 12月23日 ^{こなん} 湖南市の管理する^{こうせいちゅうおうばし} 甲西中央橋で開催 ～

○滋賀県道路メンテナンス会議・近畿道路メンテナンスセンターでは、湖南市と共同で湖南市長や湖南市職員等の参加による新技術を活用した橋梁点検のデモを実施します。
○今回、活用する新技術は「球体ガードと360°カメラを搭載したドローンによる橋梁の点検」と「デジタル画像とAIを用いた橋梁点検サポートシステム」の2技術です。

1. 開催日時 : 令和7年12月23日(火) 14:00～15:30
(天候により中止の場合があります。)
2. 開催場所 : ^{こうせいちゅうおうばし} 「甲西中央橋」(^{しがけんこなんしなつみ} 滋賀県湖南市夏見)【別添1】
3. 参加者 : 湖南市長、湖南市職員、滋賀県内自治体職員等、近畿地方整備局職員
4. 内 容 : 新技術の概要説明と、湖南市が管理する橋梁において新技術を用いた点検のデモンストレーションを行い、道路管理者の技術力向上を図り、新技術の活用を推進します。【別添2、別添3】
5. そ の 他 : 取材を希望される報道関係の方におかれましては、【別添4】の取材申込書に記入していただき、電子メールまたはFAXにて12月19日(金)12:00までに申込みをお願いいたします。
なお、報道関係の方は、当日会場にて13:30より受付を行います。
また、取材につきましては、【別添2】スケジュールの第1部までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

＜取扱い＞

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、滋賀県政記者クラブ

＜問合せ先＞

①開催内容に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所 TEL(077)523-1741(代)

副所長 斎藤 哲也 (さいとう てつや)

管理第二課長 中島 康博 (なかじま やすひろ)

建設監督官 岩上 浩也 (いわかみ ひろや)

湖南市 都市建設部 土木建設課 TEL(0748)71-2334(直)

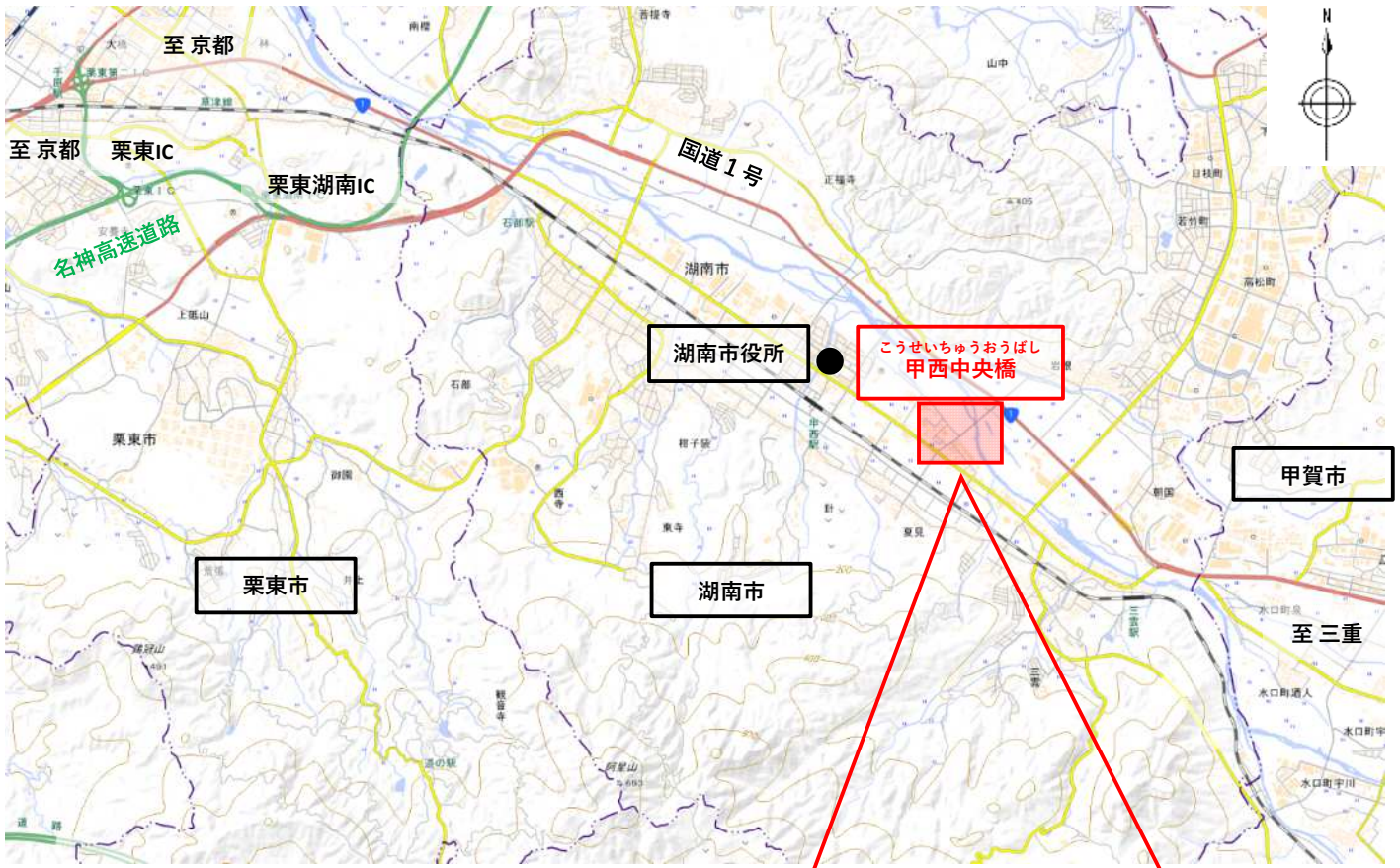
課 長 垣山 輝行 (かきやま てるゆき)

②新技術に関する問合せ先

国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター TEL(072)800-6222(代)

技術課長 石田 茂和 (いしだ しげかず)

位置図



拡大図



■出席者

第1部： 湖南省長、湖南省職員、滋賀県内自治体職員等、
近畿地方整備局職員

第2部： 湖南省職員、滋賀県内自治体職員等、
近畿地方整備局職員

■使用する新技術

- ① 球体ガードと360°カメラを搭載したドローンによる橋梁の点検
- ② デジタル画像とAIを用いた橋梁点検サポートシステム

■スケジュール

第1部 14：00～ 開会、挨拶
14：05～ 新技術概要説明及びデモ
14：25～ 新技術デモ感想（湖南省長）
14：30 閉会、マスコミ取材

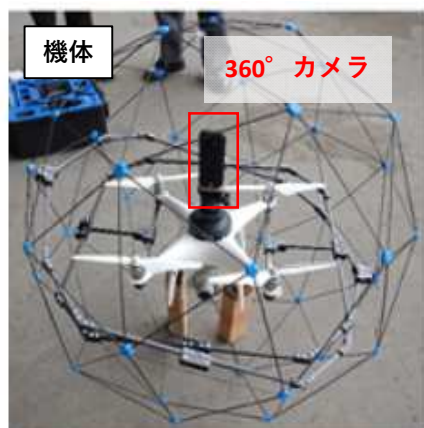
第2部 14：30～ 開会
14：35～ 新技術体験
15：00～ 意見交換
15：30 閉会

■使用する新技術

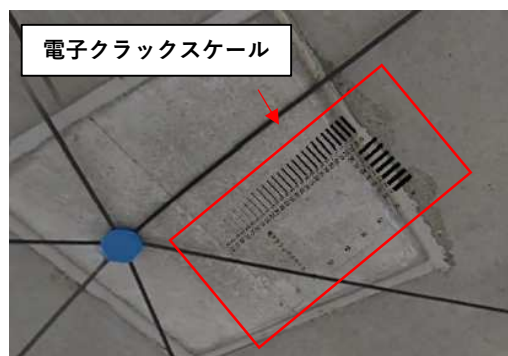
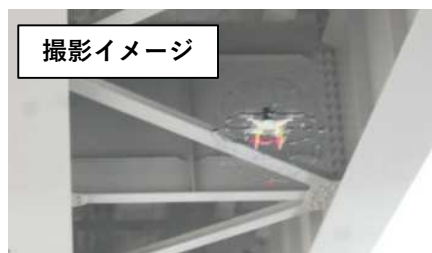
技術①: 球体ガードと360° カメラを搭載したドローンによる橋梁の点検

【技術概要】

球体ガードと360° カメラを搭載したドローンで、橋梁狭隘部を近接飛行・撮影し、損傷状況を把握する技術です。また、カメラも全球360° 動画を採用し、後から確認したい箇所を選び直すことが可能な動画を提供することができる技術です。



- ・ 球体ガードによりドローン本体は対象物と物理的に接触しない
- ・ 接触時においても水平飛行を維持
- ・ 球体ガード最大直径：75cm
- ・ ドローン重量：2.5kg
- ・ 連続稼働時間：約15分（外気温25°Cの場合）



ソフト画面上で、変状を確認

出典：点検支援技術性能カタログ、技術の性能確認シート

【活用効果】

- ・ 従来技術（橋梁点検車）と比べ、点検時の交通規制が不要となり、社会的影響を削減できる。
- ・ 従来技術（橋梁点検車）と比べ、現場作業時間の短縮が期待できる。
- ・ 従来技術（橋梁点検車）と比べ、高所での作業がなくなり、橋梁点検員の安全性が向上する。

技術②: デジタル画像とAIを用いた橋梁点検サポートシステム

【技術概要】

橋梁等コンクリート構造物を撮影したデジタルカメラを用い、AIと画像処理技術によりひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰の損傷を自動で検出する技術です。ひびわれの幅と長さ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰の面積を自動で計測することができ、これらの損傷情報を画像データ、DXFデータ、Excelデータとして出力できる技術です。



< 損傷検出例 >

出典: 点検支援技術性能カタログ、技術の性能確認シート、(株)ニコン・トリンブルHP

【活用効果】

- ・ひびわれなどの損傷をAIにより自動で検出できるため、現場作業時間の短縮、ヒューマンエラーの低減が期待できる。
- ・自動検出・計測、編集した損傷データはをCADデータに出力し、損傷図に利用することで、記録様式の作成時間の短縮が期待できる。

橋梁点検新技術のデモンストレーション

取 材 申 込 書

【電子メールによる申込】

送信先（メールアドレス）：kkk-shigahp@mlit.go.jp

①件名に【橋梁点検新技術のデモンストレーション】と記載してください。

②メール本文に下記事項を記載してください。

- ・貴社名
- ・ご担当者の氏名（ふりがな）
- ・ご連絡先（電話番号、FAX 番号、メールアドレス）
- ・ご同行者の氏名（ふりがな）

【FAX による申込】

下記の送信表に必要事項をご記入のうえ、本紙を送信してください。

FAX：077-522-6824

滋賀国道事務所 管理第二課 宛

F A X 送 信 表	
貴社名	
ご担当者	氏名（ふりがな）
ご連絡先	電話番号： FAX 番号： メールアドレス：
ご同行者	氏名（ふりがな）

- ・複数名での取材を希望される場合は、全員分のお名前、ご連絡先を記入してください。
- ・送り状は不要です。
- ・お手数をお掛けしますが、FAX 送信後は受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡ください。

【受信確認先】 滋賀国道事務所 管理第二課 TEL:077-523-1762(直)

- ・申込期限：令和7年12月19日(金)12:00まで
- ・荒天等により中止する場合は、当日10時までにご連絡させていただきます。